

「市川市地域防災計画震災編(案)」についての
パブリックコメント実施結果

市川市 危機管理室 危機管理課

○実施期間

令和6年10月1日(火)～令和6年10月31日(木) 31日間

○ご意見を提出していただいた方の人数及び件数

意見媒体	人数	件数
①インターネット	2人	5件
②ファクシミリ	0人	0件
③危機管理課への提出	1人	1件
④その他公表場所への提出	0人	0件
⑤郵送	0人	0件
⑥その他	0人	0件

○ご意見への対応

対応内容	件数
①ご意見を踏まえ、修正するもの	1件
②今後の計画策定の参考とするもの	3件
③ご意見の趣旨や内容について、考え方を既に盛り込み済みであるもの	2件
④その他(素案そのものに対するご意見でないもの等)	0件

○ご意見の概要と市の考え方

No	ご意見の概要	市の考え方	ご意見への対応
1	以下の文章を災害時外国人対応サポーターという記載に変更していただきたいです。 P120 (3)避難者等への情報提供 ウ ～(略)協定に基づく市川市国際交流協会等への語学ボランティアの派遣依頼等により～(略) P122 1 避難行動支援者の安否・同行確認 (2)～(略)必要に応じて「災害時における支援に関する協定」に基づき、市	ご意見を踏まえ、以下の通り修正します。 P120 (3)避難者等への情報提供 ウ ～(略)協定に基づく市川市国際交流協会への外国人対応サポーターの派遣依頼等により～(略) P122 1 避難行動支援者の安否・同行確認 (2)～(略)必要に応じて「災害時における支援に関する協定」に基づ	①

	<p>川市国際交流協会に<u>通訳</u>等の協力を依頼する。</p>	<p>き、市川市国際交流協会に<u>外国人対応サポーター</u>等の協力を依頼する。</p>	
2	<p>震災によって住宅崩壊や液状化で被害を受けた方の避難先の選択肢を増やすため、市の北部、高台の地域にも防災公園を作ってほしい。また、防災かまどベンチや非常用トイレなどもあればいいと思います。</p>	<p>本市の北部については農地や公園などのオープンスペースが多く、広域避難場所もあることから、現時点で北部地域での防災公園の整備は考えておりませんが、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>	②
3	<p>発災時に行徳地区を管轄する行徳本部の人員が充足するか気になります。震災時に液状化被害が想定される行徳地区では、行徳本部の人手が足りず、対応が遅れるのではと危機感があります。本庁から人員を増派する必要もあるのではないのでしょうか。</p>	<p>職員配配置等の調整につきましては、各対応本部から人員派遣の要請等があった場合は、被災生活支援本部が職員配置の調整を行う旨を80ページに記載しております。</p>	③
4	<p>災害対策本部としての第一庁舎が使用不能になった場合、おそらく議会本会議室も同時に使用不能になると考えられますが、その場合に仮設本会議室をどこに設置するかを検討されてはいかがでしょうか。</p>	<p>市役所第1庁舎は、建築基準法の1.5倍相当の強度を確保しており、被害は最小限と考えられますが、万が一、使用不能になった場合は、災害対策本部の代替施設である第2庁舎での開催が想定されます。</p>	②

5	<p>市からの様々な情報発信ツールの一つに SNS が含まれていますが、X(旧ツイッター)は外した方が良くと思います。X はサービス運営の基準や質が非常に不安定であり、正確な情報発信ツールとしては不適かと思います。また、市の公式 X では認証バッジを取得していないため、なりすましアカウントによる偽情報や誤情報の流布等が懸念されます。昨今の災害では SNS、特に X 上でのデマ情報の拡散が問題視されてるので、市として SNS とどう向き合うか明確にする必要があると思います。</p>	<p>現在、市川市公式 SNS は、市の取り組みやイベント等の行政情報のほか、市内の出来事、市の魅力などを発信しています。</p> <p>SNS 運用は担当者を明確にし、市川市公式 SNS 運用ガイドラインを定めており、その中で発信内容などについて明記しています。市民の皆さんが必要とする情報をタイムリーに発信する際の拡散性については、多世代にわたる利用者の多い X の強みであると考えます。しかしながらおっしゃる通り、なりすましアカウントやフェイクニュースなども拡散されていくというデメリットもあります。本市としましては、この拡散性を利用しつつ、誤情報による混乱を招くことのないよう、X の公式認証バッジの申請検討や日ごろからの適切な情報発信で信頼性を上げ、正しい情報が皆さまに伝わるよう努めてまいります。</p>	②
6	<p>隣接する浦安市は巨大なテーマパークを抱え、国内外多くの人を迎え入れ、かつ市川市と同様に軟弱地盤の地域です。万が一、浦安市が想定していた以上にテーマパークに来場者が滞在している最中に災害が発生した場合、南行徳地区に帰宅困難者がパニック的に流入してこないか心配です。受け入れを拒否することはできませんが、非常時でも最低限の秩序が保たれないまま一時的に人口が急増すれば、二次災害や治安悪化等が懸念されます。それらを防止するために、浦安市と帰宅困難者を受け入れられる体制の整備について協議する必要があると思います。</p>	<p>災害時の帰宅困難者対応については、一斉帰宅の抑制が原則ではありませんが、当該テーマパークの来場者も含め東京・浦安方面から多数の帰宅困難者が本市に流入することが想定されます。</p> <p>本計画では、「帰宅困難者・対流者対策の整備」(P54～)、応急対策計画として「帰宅困難者・対流者対策の実施」(P124～)を記載しておりますが、引き続き千葉県や近隣市、関係機関と連携して対策の強化に努めてまいります。</p>	③